

デブコタ ハリ プラサデウ 論文審査の要旨

論文題目 Studies on Nepalese Medicinal Resources: Chemical Analysis and Biological Activities of *Diplomorpha canescens* and their Comparison with *Diplomorpha ganpi* and *Diplomorpha sikokiana* from Japan
(ネパールの薬用植物の研究：ネパールの *Diplomorpha canescens* と日本の *Diplomorpha ganpi* 及び *Diplomorpha sikokiana* の成分研究及び生理活性の比較)

審査内容

ネパールのガンピ及び日本の同属植物、計三種の植物の地上部、地下部より、合計120余の化合物を単離し、70余種の化合物、その中に10種の新規化合物の構造を推定した。生理活性に関しては手始めに抗酸化、抗チロシナーゼ活性に関して行い、構造活性相関をある程度見いだした。

一分訂正箇所があり、訂正した。今後の目標も指摘していただき、研究の一つの目標ができた。論文内容に関しては問題が無い。

発表に関しては当初予定していた日本語での発表は出来なかったが、質疑応答はほとんど日本語できちんと対応出来たことは素晴らしいことである。対応に問題は無かった。

論文発表の要旨を見て、薬剤部の斉藤教授から単離した化合物を用いた機能性の解明の申し出もあり、今後の発展につながるものと確証している。

本研究を継続・発展するために「武田科学振興財団」から助成を頂けることが決まり、後一年間熊本大学で研究が出来るようになったことも、本博士論文が評価されて結果である。

博士薬学として、今後一層、研究・教育、社会貢献を行くことが出来る能力を持っている。

審査委員	薬用植物学	准教授	矢原 正治
審査委員	生体機能分子合成学	教授	大塚 雅巳
審査委員	創薬基盤分子設計学	教授	石塚 忠男
審査委員	天然薬物学	教授	塚本 佐知子

